

<h2 style="margin: 0;">ケヤキ</h2> <p style="margin: 0;"><欖・槻></p>	学名	Zelkova serrata
	別名	ツキ
	分類	ニレ科ケヤキ属（落葉高木）
	分布	本州、四国、九州、朝鮮、中国、台湾
	用途	庭木、公園・街路・防風樹、建築・器具・楽器・彫刻材

<h3 style="margin: 0;">解 説</h3>	<p>ケヤキは日本の代表的な広葉樹のひとつ。山野に自生するほか、庭木、公園樹、街路樹として植えられている。特に関東地方に多く、生育もよい。寿命の長い木なので、天然記念物に指定されるものも多い。文学や歌にもよく登場する。また木目が美しいうえに狂いがほとんどなく、湿気にもよく耐え、保存性が高いので用途が広い。特に社寺建築、臼、盆、漆器などに賞用される。普通高さ20～25mになるが、高さ50m、直径5mに達する巨木もある。樹皮は灰褐色で、老木になると鱗片状にはがれる。樹冠は扇をなかば開いたような円形状になる。枝は暗褐色で細くして屈曲し、細かい白色の軟毛がある。葉は互生し、長さ2～7cmの卵形または卵状披針形で質はやや薄い。先は鋭くとがり、基部は円形または心形、ふちには鋭い鋸歯がある。表面はやや光沢があってざらつき、裏面は淡緑色。花は4～5月に開く。雄花は淡黄緑色で小さく、本年枝の下部の葉腋に数個ずつ集まってつく。萼は深く4～4裂し、4～6個の雄しべがある。雌花は本年枝の上部の葉腋に1～3個つき、退化した雄しべと1個の雌しべがある。花柱は2裂する。果実は長さ4～5cmの平たいゆがんだ球形で、稜があってかたい。10月頃暗褐色に熟す。</p>
---------------------------------	---

